



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

CONTENTS

ごあいさつ	1	国内出展社アンケート、 海外出展社アンケート	7
第38回国際福祉機器展 H.C.R. 2011 報告	2	広報、PR 活動、車いす貸出コーナー、 シャトルバス	8
特別企画	4		
出展社ワークショップI プログラム 出展社ワークショップII プログラム	5		
来場者アンケート	6		

編集・発行：一般財団法人 保健福祉広報協会
Publisher : Health and Welfare Information Association
住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

再生に向かって きめ細かな取組みを



昨年は、甚大な被害をもたらした東日本大震災や台風被害などの災害が数多く発生いたしました。被災地では、民生委員、老人クラブ会員、福祉施設職員など多くの福祉関係者やボランティアが支援活動を展開してきました。敬意を表すとともに誇りに思います。被災地の復旧・復興活動はこれからが正念場です。しかし、時間の経過とともに被災地に対する支援が弱まりつつあるとの報道もなされています。今後、被災者の生活再建に向け、どのような支援活動をおこなっていけばより効果的かを全国の福祉関係者ととも考えていきたいと思

います。さて、わが国では少子高齢化が進行し、50年後の2050年には人口の約4割が高齢者となり、高齢者1人を1.2人の現役世代が支える社会が到来するとされています。こうしたなか、国では医療・年金・介護・子育てなどの社会保障制度を人口構成の変化に応じた持続可能な制度に再構築するため、税制改革による財源確保とともに進める「社会保障と

税の一体改革」をおこなおうとしています。

また、本年4月には3回目の介護保険制度・報酬が改定されます。さらに障害者総合福祉法の制定による新たな障害者福祉制度の構築に向けた議論も大詰めを迎えます。

わたしたち福祉関係者は、地域の方々の社会保障に対する理解を深めるよう努めていくとともに、福祉政策の改定が、高齢者や障害者の自立支援や、地域や福祉施設における福祉・介護サービスにどのように影響を及ぼしていくかを見極めていくことが重要です。

福祉機器においては、高齢化と核家族化の進展などにより、従来の福祉機器における量的、質的ニーズの拡大に加え、身体機能の衰えがもたらす日常生活のちょっとした動作を助ける用具やアイデアなどにあらたなニーズが生まれています。また2012年度から貸与事業所に個別援助計画の作成を義務付けられることとなります。

こうした状況下、福祉機器に関わる方々には、今

まで以上に利用者の立場に立って一人ひとりに適した機器の選び方・使い方を考えていくことが求められています。

そんななか、世界の福祉機器の最新情報を提供する「第39回国際福祉機器展 H.C.R. 2012」を9月26日(水)～28日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにて開催いたします。本会は、高齢者と障害者の自立と介護者を支援するため、H.C.R. 2012を中心に世界の福祉機器に関わる総合的な情報提供をおこない、機器の開発・普及の推進に努めます。また、利用者や家族に対し福祉機器の使い方や公的支援制度などの情報提供、福祉施設の職員や利用者などを対象とした福祉、介護、医療等のセミナーの開催など、多彩な催事を企画・開催する予定です。

今後とも皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国際福祉機器展H.C.R. 2012事務局
一般財団法人 保健福祉広報協会



次回
開催

第39回 国際福祉機器展H.C.R. 2012

39th Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2012

H.C.R. 2011には出展企業・団体をはじめとした関係者の皆様へ、多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

次回のH.C.R. 2012は、平成24年9月26日(水)～28日(金)に、東京ビッグサイトで開催いたします。

本会では、今後とも福祉機器の開発と普及の促進に努めてまいりますので、引き続き、関係各位のご協力、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

会期 2012年
9月26日(水)～28日(金)

会場 東京ビッグサイト
東展示ホール

出展
募集 2012年
2月1日(水)～4月20日(金)